

公益財団法人朝日新聞文化財団 2019年度事業計画（案）

（はじめに）

2019年度政府経済見通しは、10月に消費税率の引き上げが予定される中で、実質1.3%（名目2.4%）のGDP成長率を見込んでいる。ただ、先行きのリスクとして、通商問題が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性などを留意点として指摘するなど、不透明な状況は続いている。

財団の助成事業を賄う基本財産の運用収入は、国内の低金利下で預金の利息収入は低調が続き、株式配当も増加基調は見込みにくい状況にある。大阪国際フェスティバルの開催に当たっても、地元の経済環境は厳しい状況にあり、一層の協賛金集めや集客の努力が必要になっている。こうした中で、事業の公益性に留意しつつ、助成事業では対象の吟味を深め、音楽公演ではさらに内容に磨きをかけることによって、事業の安定化を目指したい。

（事業計画の柱）

- ① 2015年度の大阪国際フェスティバルからスタートした「大阪4大オーケストラの響演」は、5回目となる19年度、人気の佐渡裕氏の指揮で特別編成の二つの合同オケによるスペシャル公演を実施する。大阪ならではの春恒例の企画として、さらなる定着を図る。
- ② WEBによる助成受付やフェイスブック（FB）による助成・音楽事業の広報・コミュニケーション活動を強化し、公益性の観点を保持しつつ、効率的な財団運営に努める。
- ③ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会はスポーツの祭典であるとともに、国をあげてわが国の文化芸術の価値を世界に発信する機会となることから、当財団の音楽公演および芸術活動助成においても、こうした点を意識した事業構成とする。

（主な事業内容）

1. 音楽会、美術展覧会等の事業に対する助成（定款第4条1）

音楽祭、美術展覧会の開催等の芸術活動に対し助成する。19年度実施事業の申請受付は18年11月28日に締め切り、19年1月28日（音楽分野）と2月27日（美術分野）に芸術活動助成選考委員会を開催。今年は371件と過去最高水準の応募があった。また、今年と来年は東京オリンピック開催に向けた芸術プログラムの強化期間にもあたるため、2500万円の通常助成に加え「2020芸術活動特別助成」として1200万円を、特に芸術性に優れた事業を選定して支給することとした。このため、計169件に対して3700万円の助成を決め

【第1号議案】 2019年度事業計画案

た。なお、特別助成原資は「2020 芸術活動特別助成資金」として積み立てた特定費用準備資金（特定資産）から充当し、2020 年度分は 2018 年度末に同額を積み立て充当する。

15 年度からWEBシステムに一本化した受付事務については、電子申請システムの改良を重ね、また、付帯した機能を活用することにより選考作業の効率化と質的向上とにつながっており、来年度分の申請数増もこれによる。助成対象事業の情報発信や助成先とのコミュニケーション強化のためFB活用と訪問活動をより一層高める。

2. 文化財の保護等のための事業・活動に対する助成（定款第4条2）

2019 年度の実施事業は 18 年 6 月中（WEBは 7 月 5 日まで）に申請を受け付け、9 月の文化財保護助成選考委員会で 35 件の申請の中から継続複数年事業を含め 29 件、合計 6500 万円の助成を決定した。また、文化財保護や修復・公開の重要性を啓蒙普及するシンポジウム等のイベントの朝日新聞社との協力開催も継続する。今年度も助成申請はWEBと書類との並行受け付けを継続し、FBや直接訪問を含めた助成事業のフォローアップ活動を充実させていく一方で、当財団の助成金制度をより広く認知してもらうための関係者への訪問や情報交換なども強化していく。

3. 文化・学術等の向上に寄与した者に対する顕彰（定款第4条3）

芸術家、研究者等に対する顕彰を目的として朝日賞を贈呈する。近年の業績を主な対象に幅広く候補者を調査し、例年 12 月初めに開く朝日賞選考委員会で若干名選定する。

4. 音楽会等の公演の主催（定款第4条4）

第 57 回となる大阪国際フェスティバルは、4 月 20 日『大阪 4 大オーケストラの響演 スペシャル』で開幕する。5 回目の開催となる同企画の区切りとして、4 楽団が合同オーケストラを編成し、佐渡裕が振る。4 月 28 日には『エストニア・フェスティバル管弦楽団』をパーヴォ・ヤルヴィ指揮、五嶋みどりのヴァイオリンで。6 月 8 日はリヒャルト・シュトラウス没後 70 周年を記念して、大阪フィルの演奏、尾高忠明の指揮によりオペラ「サロメ」を演奏会形式で開催。9 月 21 日には 4 年ぶりに新国立劇場こどものためのバレエ劇場を招へいし「白鳥の湖」を。11 月 10 日はティーレマン指揮「ウィーンフィル管弦楽団」をお届けする。

以上